

## 会議録

会議の名称	西東京市介護保険運営協議会・第3回会議次第
開催日時	平成23年5月12日（木曜日）午後1時から午後2時30分まで
開催場所	西東京市役所田無庁舎3階 庁議室
出席者	委員：市川委員長、須加副委員長、饗場委員、新井委員、海老澤委員、小山委員、関口委員、高岡委員、高橋委員、中村委員、新野委員、野崎委員、橋岡委員、山西委員、吉岡委員 事務局：福祉部長、高齢者支援課長、介護保険担当課長以下5名
議題	(1) 第2回会議録の確認 (2) 市民アンケート調査結果等の報告について (3) 介護保険事業計画（第4期）の中間報告について (4) その他
会議資料の名称	配布資料 1 西東京市の人口・世帯数・高齢化等の現状 2 国の動向（介護保険制度の改正と第5期介護保険事業計画策定にあたっての考え方） 3 都の動向（東京の地域包括ケア～みんなでつくり出す365日24時間の安心） 4 西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第5期）フォローアップ調査計画（案） 5 地域密着型サービスの基盤整備状況 6 第1号被保険者介護保険料調定額及び収納状況 7 所得段階別調定状況 8 被保険者・介護サービス利用数・介護保険給付費 9 要支援・要介護認定者の比較 10 介護予防の各種事業と利用状況  追加資料 1 西東京市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第5期）のポイント（参考）サービス提供責任者、ホームヘルパー及び利用者アンケート結果報告書 （参考）介護保険運営協議会日程（案） （参考）高齢者支援課職員名簿
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	

## 1. 開会

開会の挨拶（委員長の挨拶）

市長からの諮問

市長からの挨拶

各委員の自己紹介

事務局の自己紹介

各資料の確認

## 2. 議題

### (1) 第2回会議録の確認

事務局：

会議録の確認をさせていただきたい。訂正はあるか。訂正がないということで、第3回会議録とする。

### (2) 市民アンケート調査結果等の報告について

事務局：

資料1～4の説明

- ・人口の増加とともに、要支援・要介護認定者数も右肩上がりになっている。
- ・アンケート調査でも住み慣れた地域で住みたいというニーズは高かったため、地域包括ケアシステムの構築は必要である。
- ・昨年度実施した9種類の調査のポイントを説明する。（調査のポイントの説明）。
- ・震災後の変化なども分析するために、高齢者一般調査、日常生活圏域ニーズ調査において、フォローアップ調査を実施する。また、市内のNPO、地域活動団体へグループインタビューも実施する。

○委員長：

何か質問はあるか。

委員：

資料3のところに東京都の動向が書かれている。「365日24時間の安心」と記されているが、最期の看取りのところでは困ったことがある人等の意見を反映されない調査になってしまっているように思う。これらの課題を計画に反映できないか。

○委員長：

フォローアップ調査、ヒアリング調査などで課題を抽出できればと思う。

委員：

国の方針が在宅重視へシフトしているように感じているが、今回の調査で在宅介護を重視すべきで施設はあまり必要ないといったような結果は出たのか。在宅重視で可能なのか、議論するべきだと思う。

○委員長：

高齢者のケアをしている家族からのアプローチもあるし、施設に入っている方の属性

からもアプローチできる。アプローチの仕方を考える必要がある。

○委員長：

施設の満足度が前回調査に比べて20パーセント下がっているとか、居宅サービスの満足度は7パーセント下がっているのは、意識が変わっているのか、サービスが低下しているのか、情報が足りないのか等、何が原因なのか。

○事務局：

調査結果をまとめて提示する。

委員：

グループインタビューをするのは非常にいいと思う。アンケート調査だけでは出てこない課題が抽出されると思う。活動団体に聞くのもよいが、ぜひ認知症支援の観点で家族会などにも聞いていただきたい。

○事務局：

グループインタビューの調査対象は今後検討させていただく。

○委員：

資料2の地域包括ケアシステムの構築のところで、日常生活圏域は徒歩30分でかけられる圏域と書かれているが、現在の4圏域は見直していくことは考えていらっしゃるのか。現在の4圏域では、30分以上かかる地域がある。

○委員長：

圏域の分け方は重要な課題となるので、今後の検討課題としていただきたい。

### (3) 介護保険事業計画（第4期）の中間報告について

事務局：

資料5～10の説明

- ・（圏域ごとの地域密着型サービスの基盤整備状況と23年度の整備見込みについて）
- ・所得段階別調定の状況は、平成21年度では11段階となっている。多摩地区で最も段階が多いのが武蔵野市の13段階となっている。
- ・被保険者数・介護サービス利用者数・介護保険給付費は、第1号、第2号保険者ともに増加している。居宅、施設サービス別に介護保険給付費をみると、施設サービスに関しては施設増設をあまりしていないということもあって、施設サービス利用料は微増となっている。
- ・（20年度、21年度の介護予防の各種事業と利用状況について）

○委員：

私は専門家ではないのでわからないことがある。3点質問がある。1点目は、小規模多機能型居宅介護というのは何か。2点目は、普通徴収と特別徴収とはなにか。なぜ普通徴収に滞納があるのか。また、どのような滞納整理を行っているのか。3点目は、サービスの利用の状況が資料に書かれているが、サービス種類別についての利用状況が知り

たい。

○事務局：

まず、小規模多機能型居宅介護についてだが、通所、訪問、泊まりのサービスを提供する施設である。特別徴収は年額が18万円以上の方は年金から天引きされる。

普通徴収は年額が18万円未満の方で納付書にて納めてもらう。滞納整理は、徴収嘱託員が徴収を行っている。サービス種類別の利用状況については、次回資料を出させていた

○委員長：

介護保険の手引きを配っているので、これを読んでいただきたい。また、わかりにくいところについても言っていただければと思う。

○委員長：

閉じこもり予防や認知症予防は、なかなか難しい問題である。制度上の問題だけでなく、この後の高齢者保健福祉計画の分野に関わってくることだが、単に特別給付などの議論にとどまってはいけないと思う。一人一人の生活パターンに合わせた支援が必要である。

(4) その他

事務局：

介護保険運営協議会日程（案）の説明

- ・9月、12月を除いて、月1回のペースでの開催を予定している。
- ・今後、国が示すスケジュール等によっては、この予定が変更されることもある。

○委員長：

次期計画の介護保険料をいくらにするのか、何段階に分けるのかは、非常に難しいと思う。課題をまとめて皆さんと話し合いながら決めていければと考えている。

○委員：

圏域の設定については重要な問題だが、いつの会議で議論するのか。

○事務局：

次回には議論に入りたいと考えている。

○委員：

防災計画とはどうリンクさせていくのか。また、アンケート調査結果のポイントには結果のあとに分析結果が書かれているが、これについては市が対応策を考えるのか。圏域については、2～3年で介護の計画と防災の計画を一致させていく動きがあるので、できれば一緒にしていってほしい。

事務局：

アンケート調査結果については、このような課題があるということをもとめさせてい

いただいた。今後、計画への反映方法を考えていく。

委員長：

東京、国の枠組みを考えてまとめた資料となっていると思うが、これが西東京市に合うのかという点については、今後議論が必要である。

委員：

資料6と7の数字に違いがあるのはなぜか。

事務局：

数字を出した時点が違うためである。

委員長：

委員に「サービス提供責任者、ホームヘルパー及び利用者アンケート結果報告書」について説明をいただく。

委員：

西東京市とその隣接自治体の訪問介護事業所のサービス提供事業者と訪問介護員、訪問介護事業者の利用者、それぞれ全員を対象とした調査を昨年実施した。総括的に見るところだけ触れると、145ページではホームヘルパーのストレス、仕事上感じる負担で、看護や対人援助職ではバーンアウトがよく起きると言われているが、そのバーンアウトの程度を数値化して単位で集計した。146ページでは、職務満足度が高いほどバーンアウトしにくいという結果が出ている。148ページでは「サービス提供責任者や管理者など上司にあたる人は、あなたの仕事をどの程度、指導してくれていますか」について15項目聞いている。仕事がよくできたときにほめてくれた、知識が豊富である、などである。149ページでは、上司によるヘルパー支援の程度が高いほどバーンアウトすることが少ないという結果が示されている。168ページでは、事業所の対応について「満足している」割合は約88パーセントとなっている。市の調査結果と大きく違うのは、市の調査には「ふつう」という選択肢が入っているからである。満足度についてより詳細な項目をつくる必要があると考え、13項目でたずねた。ヘルプの質をヘルパーの個人の質と事業所の質に分けて集計をしたところ、ヘルパーの満足度よりも事業所の満足度のほうがばらつきが大きいことがわかった。ヘルプの質は事業所の質に大きく影響を受けることが明らかになった。これらの調査結果の報告会は6月27日に行う。

事務局：

次回の日程は、6月30日（木曜日）の18時～21時で保谷庁舎の6階で行う。